
為替相場展望

2013年9月

 株式会社 日本総合研究所

調査部 マクロ経済研究センター

<http://www.jri.co.jp/report/medium/publication/exchange>

目次

- ◆為替相場概説・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 1
- ◆ドル円、ユーロ相場の回顧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 2
- ◆トピックス①：円安ドル高基調復帰の条件・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 3
- ◆トピックス②：独米2年債金利差が導くユーロ相場・・・・・・・・・・・・・・ p. 5
- ◆ドル円、ユーロ相場の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 6
- ◆内外市場データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ p. 7

調査部 マクロ経済研究センター

井上 肇 (Tel : 03-6833-0920 Mail : inoue.hajime@jri.co.jp)

◆本資料は、2013年9月3日9:00時点で利用可能な情報をもとに作成しています。

為替相場概説 (2013年9月)

1. ドル円、ユーロ相場の回顧

<8月のドル円相場>

市場予想を下回った米雇用統計等を背景に、上旬に一時95円台まで円高ドル安が進行したものの、中旬は、米欧や中国での良好な景気指標や日本の法人税減税検討報道等を背景に、ドルが徐々に底堅さを増す展開となり、23日には99円台を回復。もっとも、月末にかけては、中東情勢への不安等を背景に、一時96円台まで円高ドル安が進行。

<8月のユーロ相場>

米FRBの量的緩和縮小観測等を背景にリスク回避の動きが強まり、12日にかけて128円割れまで円高ユーロ安が進行したものの、その後は、ユーロ圏景気の底入れ期待が高まるなか、23日にかけて132円台まで円安ユーロ高が進行。月末にかけては、中東情勢への不安等を背景にリスク回避の動きが強まり、129円台までユーロが反落。

2. トピックス①：円安ドル高基調復帰の条件

過去の米国の金融政策正常化の局面を振り返ると、米国の金融政策の正常化が円安ドル高につながるには、日米金利差の拡大だけではなく、株高等を通じてリスク選好度合いが強まっていくことが不可欠なことを示唆。実際、今年5月下旬以降の局面でも、日米金利差が拡大するなかにあっても、株価が下落し、リスク回避の動きが強まる局面では、円高ドル安に振れる傾向。

先行きを展望すると、日米株価が金利上昇のマイナス影響を消化し、上昇に転じてくれば、リスク選好度合いが強まり、日米金利差拡大につれて円安ドル高が進行する見込み。

円の売り手という観点からみると、昨年秋以降の株高・円安を牽引してきた海外投資家の日本株買い・円売りが再開するかどうかのカギ。今秋以降、わが国の消費増税や成長戦略を巡る議論を通じて、アベノミクスへの期待が再び高まれば、株高・円安を後押しする可能性。逆に、アベノミクスが期待倒れに終わると、海外投資家以外に円の売り手が限られるなか、円高方向への大きな揺り戻しが生じるリスクも。安定した円安基調が持続するには、国内投資家による円売りを伴う投資の活発化が不可欠。

3. トピックス②：独米2年債金利差が導くユーロ相場

2011年初夏にギリシャの債務問題が深刻化して以降のユーロの対ドル相場は、独米金利差とユーロ圏内の財政リスクプレミアムと強い相関。このうち、独米金利差については、10年債利回りよりも2年債利回りの方がより強い相関があり、足許のユーロ相場の趨勢的な動きが米欧の当面の金融政策の行方によって影響を受けやすくなっていることを示唆。

当面を展望すると、10年債利回り格差は、米量的緩和縮小観測や米欧の景況感を背景に比較的変動しやすいものの、2年債利回り格差は、米欧どちらかで利上げが近づいてくるまでは、方向感が出にくい状況。当面は、2年債利回り格差の影響を受けやすいユーロ相場も方向感を欠いた展開が続く公算大。

もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、ECBの低金利政策の長期化が見込まれる一方、米国では景気回復がFRBの見通しに沿って進めば、2015年入り以降利上げが視野に入る公算。FRBの量的緩和終了後、利上げが意識されるようになってくれば、2年債利回り格差が拡大し、ユーロ安が進みやすくなる公算。

4. ドル円、ユーロ相場の見通し

<ドル円相場の見通し>

米FRBの量的緩和策縮小を巡る思惑が交錯するなか、当面は方向感を欠いた展開が続く見込み。もっとも、日米金融政策の方向性の違いや需給面での円高圧力減退等により、中長期的な円安ドル高基調は不変。米国景気の回復基調が強まってくれば、米国金利の緩やかな上昇や、投資家のリスクテイク志向の高まりに支えられる形で、円安ドル高基調に復していく見通し。

<ユーロ相場の見通し>

ユーロ圏の景況感が持ち直しに転じるなか、ユーロが引き続き底堅く推移する見通し。もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、フォワード・ガイダンスを導入したECBの低金利政策長期化が予想されることから、ユーロの上値が重い展開が続く見込み。

米量的緩和縮小を巡る思惑が交錯するなか、ドル円は引き続き方向感を欠いた展開。ユーロ圏景気の底入れ期待が強まるなか、ユーロには底堅さ。

< 8月のドル円相場 >

月初こそ良好な米景気指標等を手掛かりに、一時99円台まで円安ドル高が進行したものの、その後は、米雇用統計が市場予想を下回ったこと等から、8日にかけて一時95円台後半まで円高ドル安が進行。中旬は、①米欧や中国での良好な景気指標を背景に世界景気の先行き懸念が和らいだこと、②日本での法人税減税検討報道、等を受けてリスク選好の動きが強まるなか、ドルが徐々に底堅さを増す展開となり、23日には99円台を回復。もっとも、月末にかけては、中東情勢への不安等を背景にリスク回避の動きが再び強まったことから、28日にかけて一時96円台まで円高ドル安が進行。

< 8月のユーロ相場 >

対ドルでは、月初こそ良好な米景気指標を受けて、一時1.31ドル台までユーロが下落したものの、その後は、ドイツやユーロ圏の良好な景気指標を背景に、ユーロ圏景気の底入れ期待が高まるなか、ユーロが底堅さを増し、20日にかけて1.34ドル台半ばまでユーロ高が進行。もっとも、月末にかけては、中東情勢への不安等を背景にリスク回避の動きが強まり、1.31ドル台までユーロが反落。

対円では、米FRBの量的緩和早期縮小観測等を背景にリスク回避の動きが強まり、12日にかけて128円割れまで円高ユーロ安が進行したものの、その後は、ユーロ圏景気の底入れ期待が高まるなか、23日にかけて132円台まで円安ユーロ高が進行。月末にかけては、中東情勢への不安等を背景にリスク回避の動きが強まり、129円台後半までユーロが反落。



(資料)Bloomberg L.P.

米国の金融政策の正常化が円安ドル高につながるには、日米金利差拡大だけではなく、株高等を通じてリスク選好度合が強まることが不可欠。

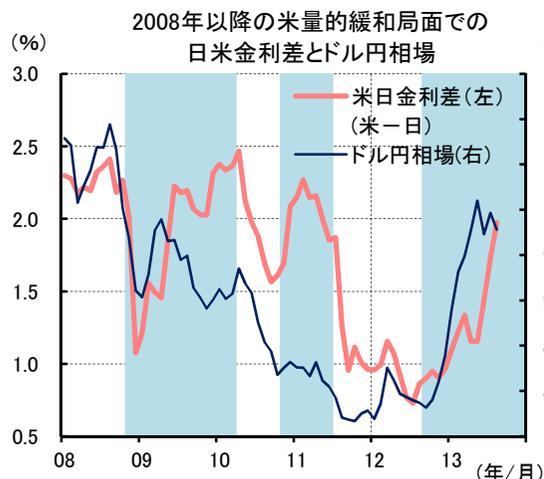
米国ではサブプライム問題などに端を発する住宅市場と家計のバランスシート調整が終了し、景気の本格回復が視野に。このため、FRBの量的緩和策第3弾(QE3)の縮小・停止は、米国の金融政策が正常化に向かう転換点、すなわち、米国が金融危機以降断続的に続けてきた量的緩和から脱却し、その後利上げ局面に移行していく入口になる公算大。

こうしたなか、米国の金融政策の正常化は日米金利差の拡大等を通じてドル高要因になるという見方が強まっていたものの、バーナンキFRB議長がQE3縮小の可能性に言及した5月下旬以降、逆に大幅な円高への揺り戻しが発生。その後も、FRBの量的緩和策縮小を巡る思惑が交錯するなか、ドル円相場は足許にかけて方向感を欠いた展開が持続。そこで、日米金利差とドル円相場の関係を改めて検討。

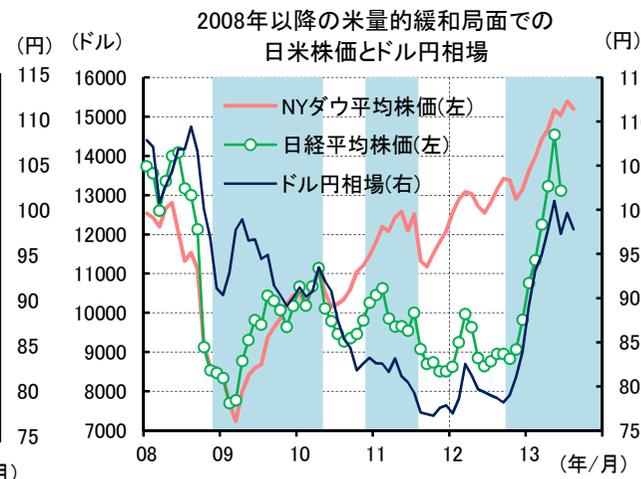
まず、FRBの過去2回の量的緩和終了局面を振り返ってみると、過去2回とも量的緩和終了後には株価が下落し、米国金利の低下を主因に日米金利差が縮小するなかで円高ドル安が進行。

次に、米国が過去に利下げ局面から利上げ局面に移行した局面(ここでは直近2回の1999年と2004年)をみると、過去2回とも利上げ開始前後で日米金利差は拡大したものの、株価が軟調に推移するなかで円高ドル安が進行。もっとも、その後の展開は2つの利上げ局面で相違。1999年からの利上げ局面では2000年に米国でITバブルが崩壊し、日米金利差縮小・日米株安となるなかでその後も円高値圏での推移が持続。一方、2004年からの利上げ局面では、堅調な日米景気を背景に日米ともに株高となるなか、日米金利差拡大に伴って円安ドル高が進行。

以上のように、過去の局面を振り返ってみると、米国の金融政策の正常化が円安ドル高につながるには、日米金利差の拡大だけではなく、株高等を通じてリスク選好度合いが強まっていくことが不可欠なことを示唆。



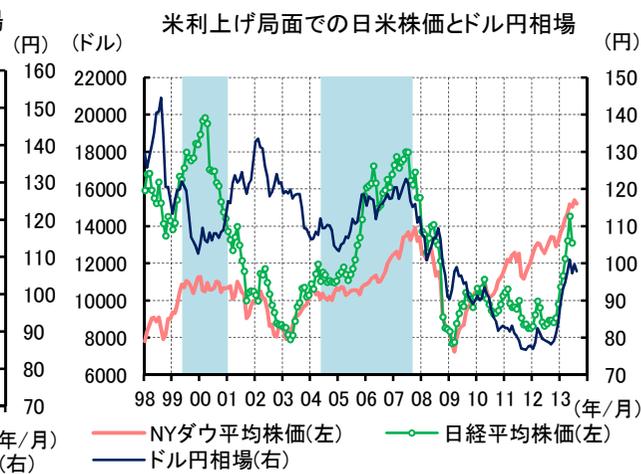
(資料)Bloomberg L.P.
(注)シャド一部は米FRBの量的緩和実施局面。



(資料)Bloomberg L.P.
(注)シャド一部は米FRBの量的緩和実施局面。



(資料)Bloomberg L.P.
(注)シャド一部は米FRBの利上げ局面。



(資料)Bloomberg L.P.
(注)シャド一部は米FRBの利上げ局面。

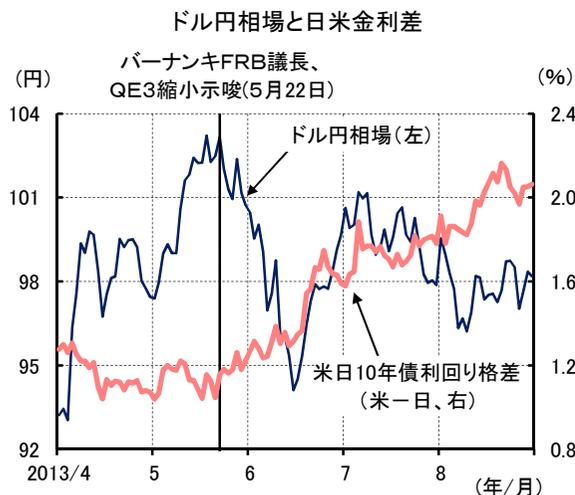
円の売り手という観点からみると、昨年秋以降の株高・円安を牽引してきた海外投資家の日本株買い・円売りが再開するかどうかがかぎ。

実際、今年5月下旬以降の局面でも、日米金利差が拡大するなかにあっても、株価が下落し、リスク回避の動きが強まる局面では、円高ドル安に振れる傾向。

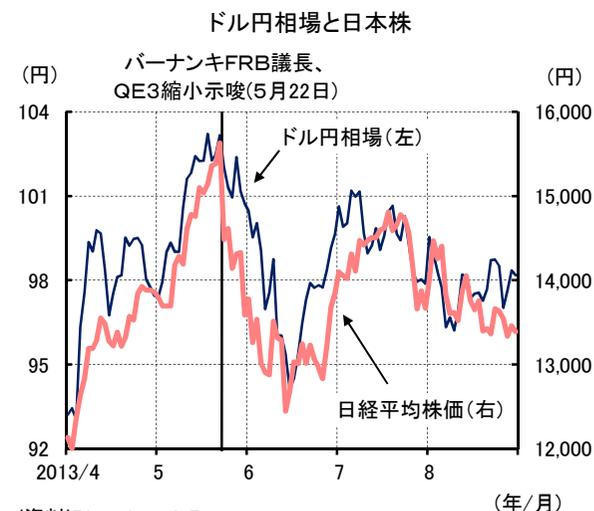
以上のことを踏まえ、先行きを展望すると、今後、FRBが金融政策の正常化に向かう過程で日米株価が調整色を強め、リスク回避の度合いが強まれば、円高ドル安に振れるリスクが残存。もっとも、米国景気の本格回復が視野に入るなか、米国株や米国景気回復の恩恵を受けやすい日本株の調整は一時的にとどまり、徐々に底堅さを増していくと期待。日米株価が金利上昇のマイナス影響を消化し、上昇に転じてくれば、リスク選好度合いが強まり、日米金利差拡大につれて円安ドル高が進行する見込み。

円の売り手という観点からみると、昨年秋以降の株高・円安を牽引してきた海外投資家の日本株買い・円売りが再開するかどうかがかぎ。日本株売買の約6割を占める海外投資家が日本株買いを増加させれば、株高を通じてリスク選好度合いの強まりを後押しするほか、そもそも海外投資家は日本株買いを増加させる局面でヘッジのため円売りも増加させる傾向があり、相乗的に株高・円安が進みやすくなる公算大。

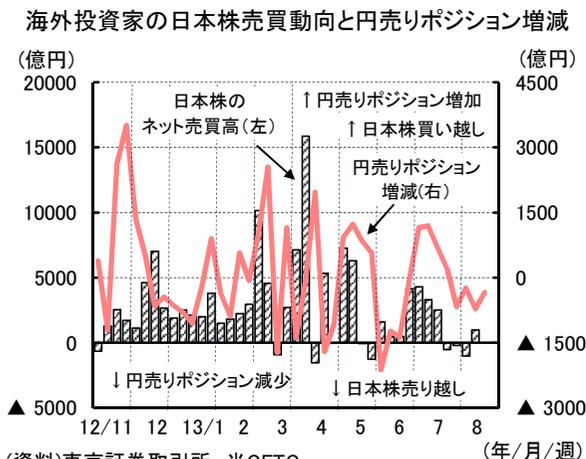
昨年秋以降、アベノミクスへの期待が海外投資家の日本株買い・円売りを促してきたことを踏まえると、今秋以降、わが国の消費増税や成長戦略を巡る議論を通じて、アベノミクスへの期待が再び高まれば、株高・円安を後押しする可能性。逆に、アベノミクスが期待倒れに終わると、海外投資家以外に円の売り手が限られるなか、円高方向への大きな揺り戻しが生じるリスクも。4月の日銀による異次元緩和導入以降、円の売り手として期待されていた国内投資家の対外証券投資は、7月から8月初にかけて買い越し超(資金流出超)となったものの、足許では再び売り越し超(資金流入超)に転換。安定した円安基調が持続するには、国内投資家による円売りを伴う投資の活発化が不可欠。



(資料)Bloomberg L.P.

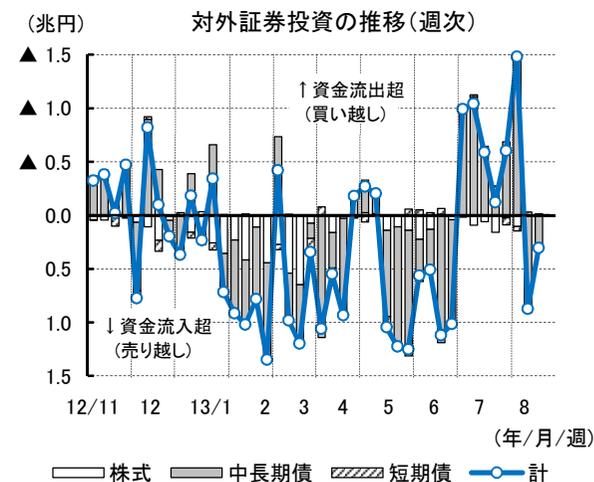


(資料)Bloomberg L.P.



(資料)東京証券取引所、米CFTC

(注)円売りポジション増減は、IMM通貨先物(非商業部門)の前週からの増減。



(資料)財務省「対外及び対内証券売買契約等の状況」

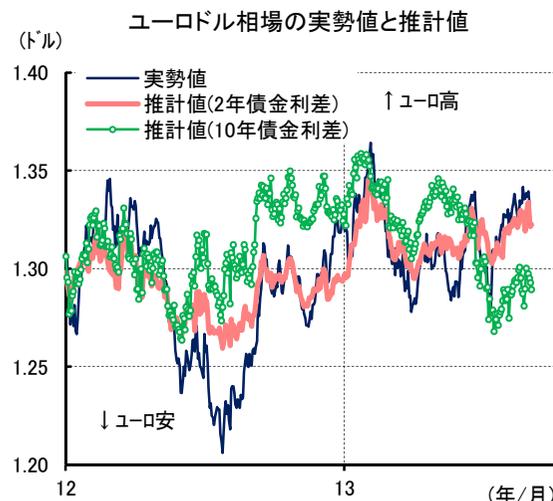
足許のユーロ相場の説明に有効なのは、10年債よりも2年債の金利差。2年債金利差に方向感が出ない限り、ユーロ相場もトレンドが出にくい状況。

2011年初夏にギリシャの債務問題が深刻化して以降のユーロの対ドル相場は、独米金利差とユーロ圏内の財政リスクプレミアムと強い相関。このうち、独米金利差については、10年債利回りよりも2年債利回りの方がより強い相関があり、足許のユーロ相場の趨勢的な動きが米欧の当面の金融政策の行方によって影響を受けやすくなっていることを示唆。

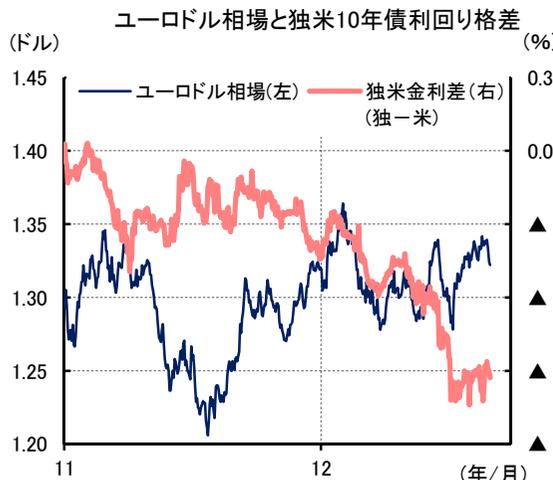
足許にかけての米国金利の動きをみると、FRBの量的緩和縮小観測等を背景に、10年債利回りは大きく上昇したものの、FRBが失業率が6.5%に低下するまで超低金利政策を続ける意向を示すなか、2年債利回りの上昇幅は限定的。一方、独米金利の動きをみると、グローバルな債券利回りのベンチマークとなる米10年債利回りの上昇やユーロ圏の景況感改善等を背景に、10年債利回りは大きく上昇したものの、ECBが7月に導入したフォワード・ガイダンスの効果もあり、2年債利回りの上昇幅は限定的。この結果、独米2年債利回り格差の変動幅は小さい状況が続いており、このことがユーロの対ドル相場の変動を乏しくしている大きな要因とみることが可能。

当面を展望すると、10年債利回り格差は、米量的緩和縮小観測や米欧の景況感を背景に比較的変動しやすいものの、2年債利回り格差は、米欧どちらかで利上げが近づいてくるまでは、方向感が出にくい状況。当面は、2年債利回り格差の影響を受けやすいユーロ相場も方向感を欠いた展開が続く公算大。

もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、ECBの低金利政策の長期化が見込まれる一方、米国では景気回復がFRBの見通しに沿って進めば、2015年入り以降利上げが視野に入る公算。FRBの量的緩和終了後、利上げが意識されるようになってくれば、2年債利回り格差が拡大し、ユーロ安が進みやすくなる公算。



(資料)Bloomberg L.P.



(資料)Bloomberg L.P.

	弾性値 (t値)			決定係数
	α	β	γ	
2年債を用いた ケース	1.378 (362.1)	0.149 (45.1)	-0.019 (-14.6)	0.793
10年債を用いた ケース	1.476 (119.6)	0.116 (11.7)	-0.045 (-12.5)	0.233

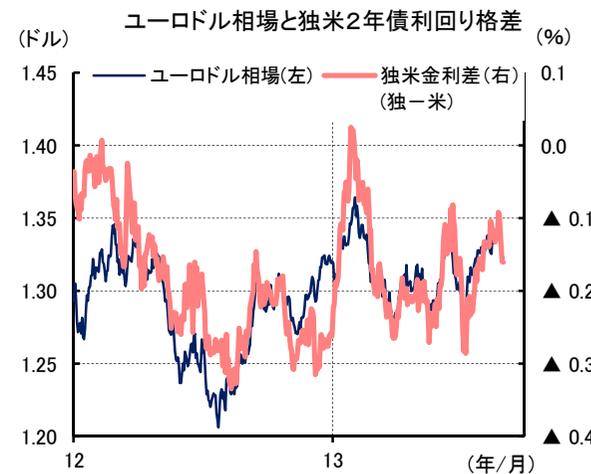
推計式は以下の通り。

$$\text{ユーロドル相場} = \alpha + \beta * \text{日米金利差} + \gamma * \text{ユーロ圏財政リスクプレミアム}$$

(注1)日米金利差は、2年債、10年債を用いた2つの場合を推計。

(注2)ユーロ圏財政リスクプレミアムには、ユーロ圏周辺国10年債利回りの対独スプレッドを使用。対独スプレッド算出の対象は、2001年までのユーロ加盟国（除くルクセンブルク）とし、2012年の名目GDPで加重平均。

(注3)推計期間は、2011年7月初～2013年8月末。



(資料)Bloomberg L.P.

**【ドル円】当面は方向感を欠くものの、徐々に円安ドル高基調へ。
【ユーロ】ユーロの上値が重い展開が続く見通し。**

＜ドル円相場の見通し＞

当面は、米F R Bの量的緩和縮小を巡る思惑や中東情勢への不安が交錯するなか、方向感を欠いた展開が続く見込み。

もっとも、①日米の金融政策スタンスの方向性の違いが明確化していること、②わが国貿易赤字の定着を主因に需給面で円高圧力が後退していること、等により、中長期的な円安ドル高基調は不変。

秋口以降、米量的緩和縮小を巡る不透明感が後退するなかで、米国景気の回復基調が強まってくれば、米国金利の緩やかな上昇や、投資家のリスクテイク志向の高まりに支えられる形で、円安ドル高基調に復帰していく見込み。

なお、わが国の消費増税や成長戦略を巡る不透明感が後退し、アベノミクスへの期待が再び高まれば、円安を後押し。

＜ユーロ相場の見通し＞

足許でユーロ圏の景況感が上向くなか、当面は対ドル、対円でユーロの底堅い推移が続く見通し。もっとも、ユーロ圏景気の本格回復が期待薄のなか、フォワード・ガイダンスを導入したE C Bが金融緩和を長期化させると予想されることから、ユーロの上値が重い展開が続く見込み。

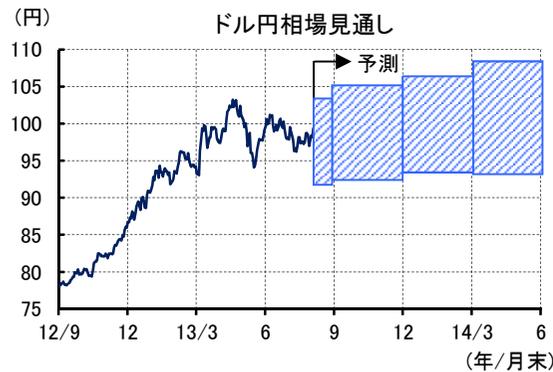
対ドルでは、E C Bと金融緩和の出口を模索するF R Bとの金融政策の方向性の違いが明確化しており、米国の金融政策が正常化に向かうなかで中期的にはユーロ安が進みやすくなる公算大。

なお、債務問題の抜本的解決にお時間を要するとみられるなか、独総選挙等をきっかけにユーロ圏政治情勢に混乱が生じれば、対ドル、対円でユーロ下振れ要因に。

ドル円相場見通し

	2013年			2014年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	98.7	98	99	100	102
(高値)	103.7	104	105	106	108
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	92.6	94	95	96	96

予測



ユーロ円相場見通し

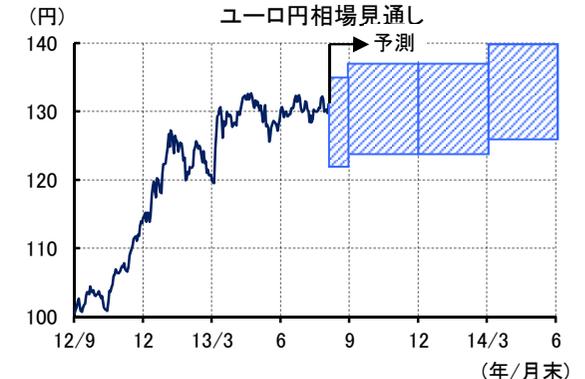
	2013年			2014年	
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6
期中平均	128.9	129	131	131	133
(高値)	133.8	136	138	138	140
レンジ	5	5	5	5	5
(安値)	119.1	122	124	124	126

予測

ユーロドル相場見通し

	2013年					2014年
	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	1~3
期中平均	1.31	1.32	1.32	1.31	1.30	1.30
(高値)	1.34	1.37	1.37	1.36	1.35	1.35
レンジ	5	5	5	5	5	5
(安値)	1.27	1.27	1.27	1.26	1.25	1.25

予測



内外市場データ（月中平均）

	為替相場			国内市場				米国市場					欧州市場					商品市況	
	¥/\$ (NY終値)	¥/€ (NY終値)	\$/€ (NY終値)	無担0/N (%)	TIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	日経平均 株価 (円)	FF0/N (%)	LIBOR 3ヵ月 (%)	国債 10年物 (%)	NYダウ 工業株 (ドル)	S&P500	EONIA (%)	EURIBOR 3ヵ月 (%)	独国債 10年物 (%)	英国債 10年物 (%)	ユーロ・ ストック50	WTI 原油先物 (\$/B)	COMEX 金先物 (\$/TO)
10/1	91.22	130.20	1.4272	0.0964	0.45	1.33	10661.62	0.11	0.25	3.71	10471.24	1123.58	0.34	0.68	3.29	3.97	2922.72	78.40	1117.09
10/2	90.16	123.35	1.3682	0.1007	0.44	1.33	10175.13	0.13	0.25	3.68	10214.51	1089.16	0.34	0.66	3.19	4.02	2727.48	76.45	1097.81
10/3	90.72	123.12	1.3574	0.0973	0.44	1.34	10671.49	0.16	0.27	3.72	10677.52	1152.05	0.35	0.65	3.13	4.02	2890.47	81.29	1114.57
10/4	93.49	125.54	1.3428	0.0929	0.41	1.35	11139.77	0.20	0.31	3.82	11052.15	1197.32	0.35	0.65	3.09	3.99	2937.30	84.58	1149.50
10/5	91.88	115.21	1.2535	0.0908	0.39	1.27	10103.98	0.20	0.46	3.40	10500.19	1125.06	0.34	0.69	2.80	3.72	2642.13	74.12	1206.58
10/6	90.81	110.89	1.2212	0.0948	0.39	1.20	9786.05	0.18	0.54	3.19	10159.27	1083.36	0.35	0.73	2.63	3.49	2641.66	75.40	1233.98
10/7	87.56	112.09	1.2803	0.0944	0.37	1.10	9456.84	0.18	0.51	2.98	10222.24	1079.80	0.48	0.85	2.65	3.38	2669.50	76.38	1192.99
10/8	85.37	110.12	1.2898	0.0950	0.37	0.98	9268.23	0.19	0.36	2.68	10350.40	1087.28	0.43	0.90	2.37	3.07	2712.23	76.67	1217.90
10/9	84.38	110.47	1.3093	0.0912	0.36	1.06	9346.72	0.19	0.29	2.64	10598.07	1122.08	0.45	0.88	2.34	3.02	2766.09	75.55	1272.30
10/10	81.80	113.69	1.3900	0.0909	0.34	0.89	9455.09	0.19	0.29	2.51	11044.49	1171.58	0.70	1.00	2.37	2.96	2817.71	81.97	1344.78
10/11	82.58	112.61	1.3641	0.0906	0.34	1.05	9797.18	0.19	0.29	2.74	11198.31	1198.89	0.59	1.04	2.56	3.20	2809.64	84.31	1371.80
10/12	83.22	110.06	1.3227	0.0869	0.34	1.19	10254.46	0.18	0.30	3.28	11465.26	1241.53	0.50	1.02	2.96	3.50	2825.58	89.23	1392.60
11/1	82.62	110.49	1.3374	0.0848	0.34	1.21	10449.53	0.17	0.30	3.36	11802.37	1282.62	0.66	1.02	3.05	3.60	2900.69	89.58	1361.02
11/2	82.57	112.80	1.3662	0.0934	0.34	1.28	10622.27	0.16	0.31	3.56	12190.00	1321.12	0.71	1.09	3.23	3.77	3015.73	89.74	1375.12
11/3	81.64	114.45	1.4019	0.0846	0.34	1.25	9852.45	0.14	0.31	3.40	12081.48	1304.49	0.66	1.18	3.25	3.60	2890.36	102.98	1422.91
11/4	83.17	120.35	1.4473	0.0623	0.33	1.27	9644.62	0.10	0.28	3.43	12434.88	1331.51	0.97	1.32	3.35	3.63	2947.16	110.04	1485.41
11/5	81.15	116.24	1.4326	0.0693	0.33	1.14	9650.78	0.09	0.26	3.15	12579.99	1338.31	1.03	1.43	3.11	3.36	2885.77	101.36	1512.55
11/6	80.47	115.89	1.4401	0.0685	0.33	1.13	9541.53	0.09	0.25	2.99	12097.31	1287.29	1.12	1.49	2.97	3.25	2766.61	96.29	1528.62
11/7	79.27	113.30	1.4293	0.0731	0.33	1.11	9996.68	0.07	0.25	2.98	12512.33	1325.18	1.01	1.60	2.79	3.13	2743.46	97.34	1574.62
11/8	77.05	110.46	1.4339	0.0806	0.33	1.02	9072.94	0.10	0.29	2.29	11326.62	1185.31	0.91	1.55	2.25	2.55	2297.21	86.34	1763.99
11/9	76.86	105.70	1.3752	0.0801	0.33	1.00	8695.42	0.08	0.35	1.96	11175.45	1173.88	1.01	1.54	1.87	2.41	2124.31	85.61	1771.92
11/10	76.68	105.26	1.3728	0.0814	0.33	1.01	8733.56	0.07	0.41	2.13	11515.93	1207.22	0.96	1.58	2.04	2.50	2312.30	86.43	1671.25
11/11	77.54	105.09	1.3554	0.0768	0.33	0.99	8506.11	0.08	0.48	2.00	11804.33	1226.41	0.79	1.49	1.95	2.24	2239.58	97.16	1739.43
11/12	77.84	102.35	1.3149	0.0778	0.33	1.00	8505.99	0.07	0.56	1.97	12075.68	1243.32	0.63	1.43	1.99	2.11	2283.30	98.58	1638.58
12/1	76.93	99.33	1.2912	0.0805	0.33	0.97	8616.71	0.08	0.57	1.93	12550.89	1300.58	0.38	1.22	1.86	2.04	2382.07	100.32	1657.22
12/2	78.60	104.06	1.3237	0.0849	0.33	0.96	9242.33	0.10	0.50	1.96	12889.05	1352.49	0.37	1.05	1.90	2.13	2508.24	102.26	1741.61
12/3	82.55	109.07	1.3214	0.0840	0.33	1.00	9962.35	0.13	0.47	2.16	13079.47	1389.24	0.36	0.86	1.88	2.25	2532.18	106.20	1676.67
12/4	81.27	106.99	1.3164	0.0745	0.33	0.95	9627.42	0.14	0.47	2.03	13030.75	1386.43	0.35	0.74	1.73	2.12	2340.78	103.35	1649.74
12/5	79.68	101.90	1.2788	0.0836	0.33	0.85	8842.54	0.16	0.47	1.78	12721.08	1341.27	0.34	0.69	1.46	1.87	2198.50	94.72	1587.68
12/6	79.35	99.57	1.2548	0.0764	0.33	0.84	8638.08	0.16	0.47	1.61	12544.90	1323.48	0.33	0.66	1.43	1.67	2152.74	82.41	1600.53
12/7	78.98	97.09	1.2293	0.0836	0.33	0.77	8760.68	0.16	0.45	1.50	12814.10	1359.78	0.18	0.50	1.31	1.55	2258.36	87.93	1593.68
12/8	78.68	97.59	1.2404	0.0863	0.33	0.80	8949.88	0.13	0.43	1.67	13134.90	1403.44	0.11	0.33	1.42	1.57	2424.50	94.16	1630.27
12/9	78.16	100.62	1.2874	0.0848	0.33	0.80	8948.59	0.14	0.39	1.70	13418.50	1443.42	0.10	0.25	1.55	1.77	2530.69	94.56	1745.83
12/10	79.01	102.47	1.2970	0.0849	0.33	0.77	8827.39	0.16	0.33	1.72	13380.65	1437.82	0.09	0.21	1.52	1.80	2503.47	89.57	1744.43
12/11	81.05	104.07	1.2838	0.0856	0.32	0.74	9059.86	0.16	0.31	1.65	12896.44	1394.51	0.08	0.19	1.39	1.79	2513.98	86.73	1722.91
12/12	83.91	110.16	1.3127	0.0822	0.32	0.74	9814.38	0.16	0.31	1.71	13144.18	1422.29	0.07	0.19	1.36	1.85	2625.55	88.25	1683.45
13/1	89.10	118.53	1.3302	0.0828	0.30	0.77	10750.85	0.14	0.30	1.88	13615.32	1480.40	0.07	0.21	1.56	2.04	2715.30	94.83	1671.17
13/2	93.13	124.24	1.3339	0.0866	0.28	0.74	11336.44	0.15	0.29	1.97	13967.33	1512.31	0.07	0.22	1.60	2.11	2630.40	95.32	1626.95
13/3	94.87	122.92	1.2957	0.0780	0.25	0.60	12244.03	0.14	0.28	1.94	14418.26	1550.83	0.07	0.21	1.41	1.89	2680.18	92.96	1593.62
13/4	97.75	127.35	1.3025	0.0721	0.24	0.57	13224.06	0.15	0.28	1.73	14675.91	1570.70	0.08	0.21	1.25	1.71	2636.35	92.07	1485.09
13/5	100.99	131.05	1.2978	0.0734	0.23	0.78	14532.41	0.11	0.27	1.92	15172.18	1639.84	0.08	0.20	1.37	1.86	2785.77	94.80	1416.61
13/6	97.29	128.40	1.3200	0.0743	0.23	0.85	13106.62	0.09	0.27	2.29	15035.75	1618.77	0.09	0.21	1.62	2.21	2655.76	95.80	1342.47
13/7	99.64	130.47	1.3095	0.0734	0.23	0.83	14317.54	0.09	0.27	2.56	15390.21	1668.68	0.09	0.22	1.63	2.36	2686.53	104.70	1288.07
13/8	97.80	130.25	1.3319	0.0735	0.23	0.75	13726.66	0.08	0.26	2.73	15195.35	1670.09	0.08	0.23	1.80	2.61	2803.85	106.54	1353.68

(株)日本総合研究所 為替相場展望 2013年9月